



青山学院大学 ADPISA-Z（2026冬期コース）

青山学院大学 社会情報学部附置リエゾンラボ

ADPISAとは



- 青山・情報システムアーキテクト育成プログラム → Aoyama Development Program for Information Systems Architect
- 社会人対象
- 情報システムアーキテクトの育成を目標とする
- 2019年開講、これまでに約300人が修了
- 修了生から高い評価： 5段階で 4.8

「アドピサ」と
呼んでください

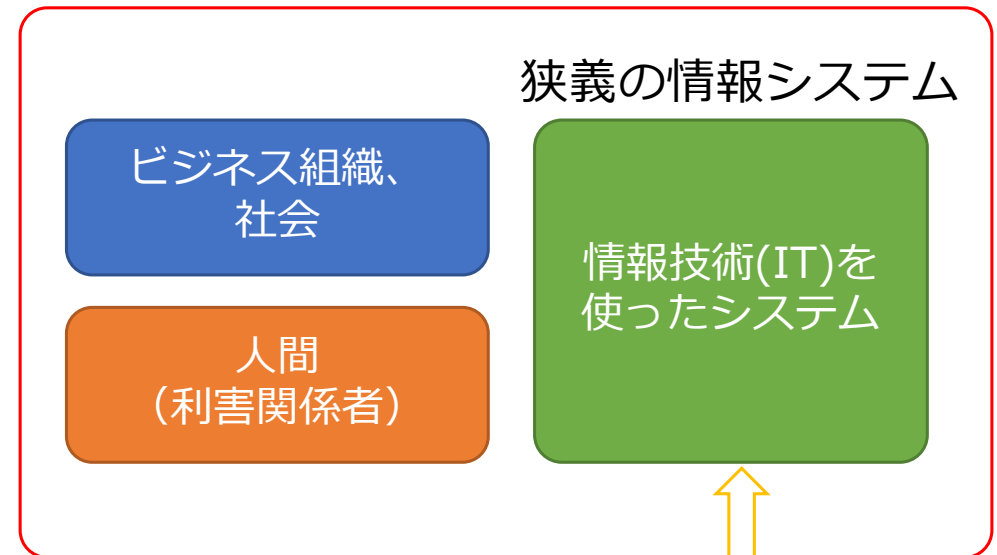
ADPISAとは：公的制度と連携した実践的教育プログラム

- 青山学院大学の履修証明プログラム
 - 学校教育法に基づく履修証明を交付（60時間／120時間）
 - 履歴書の履歴欄に書くことが可能
- 文部科学省の「職業実践力育成プログラム（BP）」
- 厚生労働省の「教育訓練給付金対象の教育プログラム」
 - 修了者には最大80%の給付金

ADPISAが育成する人材とは？

ADPISAは ITのみならず
社会、人間を含めた
広義の情報システム（IS）を
設計できる
ISアーキテクト
を育成するプログラムです

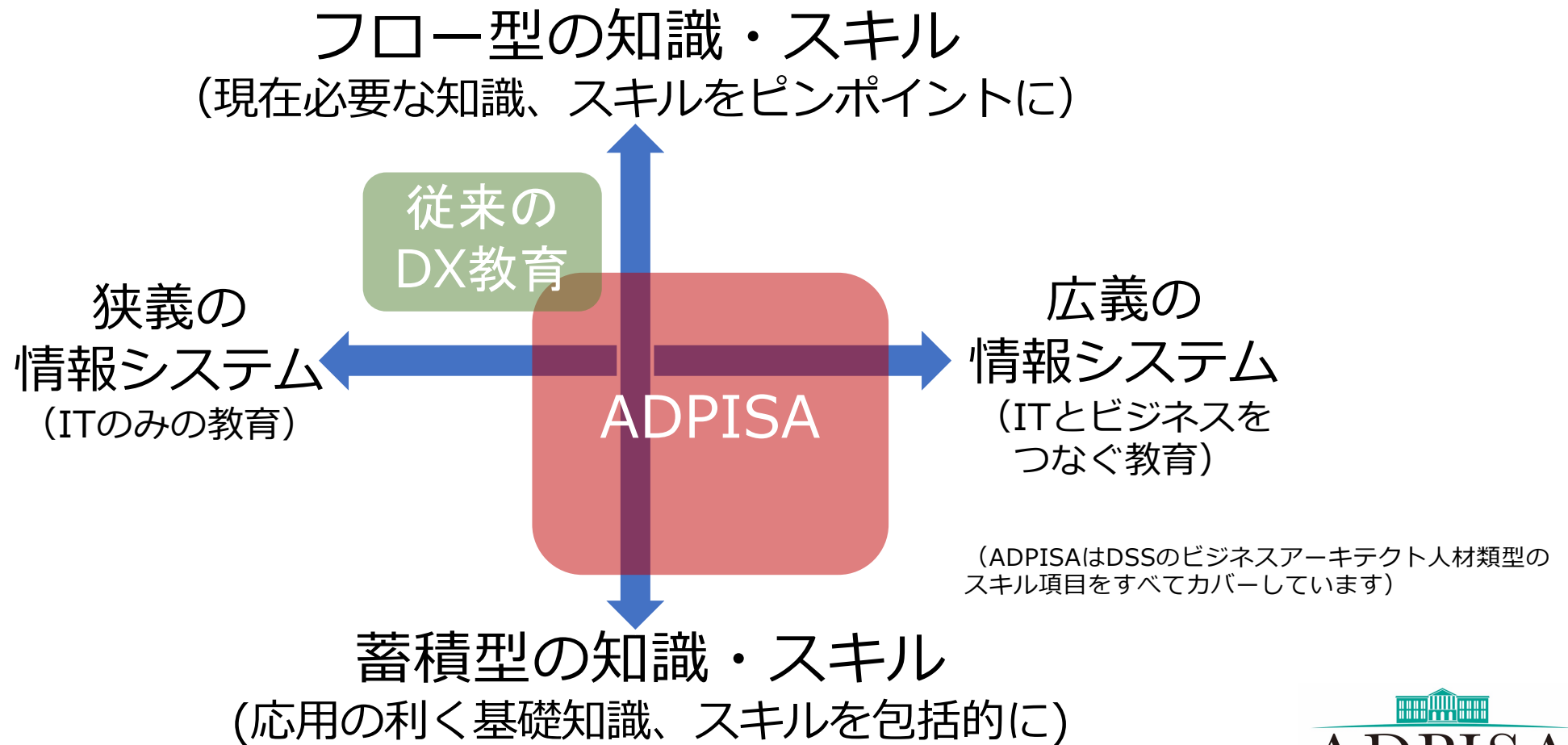
広義の情報システム



↑
ISアーキテクト：
組織、人の活動も含めた
広義の情報システムを
対象

↑
ITアーキテクト：
狭義の情報システムを
対象

特長：体系的で長く使える基礎を学べる



ADPISA-Zとは



- ADPISAのオンライン履修モデル:全国から受講可能
- 生成AIをビジネス現場で活かす力を身につける
- 45日間の短期集中型
- 修了者には青山学院大学履修証明書を発行
- 教育訓練給付金対象

ADPISA-Zの対象者



全国各地の、下記のような方々を対象にしています

- 忙しい会社員・経営者：短期間で体系的に学びたい方
- コンサルタント・中小企業診断士：提案力をアップデートしたい方
- IT企画・業務改革担当者：生成AIをビジネスに活かしたい方
- ベンダー・SIerのPM層：ユーザー企業視点を強化したい方
- ADPISA-F/E修了者：学んだことを組織の現場で実践したい方

ADPISA-Zと従来のADPISAとのちがい



- 完全オンラインで、キャンパスへの登校が一切不要
- キャリアコーチ、テクニカルコーチによる面談はなし

スケジュール（2026冬期コース）



- 期間 : 2026年1月17日（土）～3月7日（土）
- キックオフ : 1月17日（土）
- 講義期間 : 1月24日～3月7日（週末中心）
- 修了セッション : 3月7日（土）
- 総学習時間 : 135時間（120時間以上で修了認定）

科目構成

【必修科目】

1. 情報システム入門
2. チェンジを推進するビジネスアナリシス
3. 価値を実現するためのプロジェクトマネジメント
4. 情報 x 経営による価値創造デザイン
5. 生成AIで変わる情報システム
6. 情報システムアーキテクト実践研究

【選択科目群】 Udemy提供講座

ADPISA-Zと従来のADPISAとの 科目構成の比較

- ADPISA-Hとの関係
 - 1、2、6が科目名としては共通している
 - 内容は最新状況に合わせてアップデートされている
- ADPISA-Mとの関係
 - 3、4、5が科目名としては共通している
 - 内容は最新状況に合わせてアップデートされている
- ADPISA-F, ADPISA-Eとの関係
 - 共通科目はなし
 - F または Eを修了後、ITの実務を経験した方に適している

ADPISA-Z 教育スケジュール



ADPISA-Z 教育スケジュール (2025年10月26日時点)

				9:20 - 10:50	11:00 - 12:30	13:20 - 14:50	15:00 - 16:30	16:40 - 18:10			
講義日	曜日	履修モデル	種別	1限	2限	3限	4限	5限	講師	形式	備考
2026/01/17	(土)	Z				キックオフ / ガイダンス			宮川・居駒	オンライン	日時変更の可能性あり
2026/01/24	(土)	Z	必修	価値を実現するためのプロジェクトマネジメント					居駒	オンライン	
2026/01/31	(土)	Z	必修	情報システム学入門					宮川	オンライン	
2026/02/07	(土)	Z	必修	情報 x 経営による価値創造デザイン					宮川	オンライン	
2026/02/14	(土)	Z	必修	チェンジを推進するビジネスアナリシス					居駒	オンライン	
2026/02/21	(土)	Z	必修	生成AIで変わる情報システム					青学大講師	オンライン	
2026/02/28	(土)	Z	必修	情報システムアーキテクト実践研究（最終発表）					宮川・居駒	オンライン	
2026/03/07	(土)			予備							講義実施の可能性あり
(オンデマンド視聴)		Z	選択必修	選択科目群(Udemy Businessによるオンデマンド視聴)					居駒	オンライン	

募集要項

- 募集人数：30名（書類選考）
- 出願期間：2025年11月1日～2026年1月5日
- 出願資格：大学卒業または同等の学力・実務経験を持つ方
- 出願書類：受講申込書（学歴・職歴・志望動機）
- 受講料：400,000円（税込）
- 選考結果：申込後3営業日以内に通知
- 修了要件：120時間以上履修＋必修科目修了

出願の流れ

1. 公式サイトでの申込フォームから出願
公式サイト: <https://adpisa.si.aoyama.ac.jp/adpisa-z>
2026年1月期ADPISA-Zオンライン説明会（任意参加）
<https://forms.gle/6nf7qU3TxyW6YkVXA>
2026年1月期ADPISA-Z受講申込書を提出
<https://forms.gle/xYUPVUCDXLNvpE1u8>
2. 3営業日以内に選考結果の通知を受け取る
教育訓練給付金受給者は手続きを実施
3. 合格後、10日以内に受講料を納入

よくある質問（１）

Q1. ITの専門知識がなくても大丈夫ですか？

A ITの開発経験はなくても、ITに関連した業務経験があれば大丈夫です。

Q2. 授業に欠席したときはどうなりますか。

A 講義を録画したものを視聴し、課題等を提出していただければ、受講扱いになります。

Q3. 企業として申込みことはできますか？

A できます。請求書発行にも対応しています。

よくある質問（２）

Q4. 講義日以外の学習時間はどのくらい必要ですか

A 必修科目はそれぞれ異なりますが予習・復習が必要です。選択必修科目（Udemy）の学習時間は講義日以外に確保する必要があります。

その他のご質問

上記以外のご質問がある場合は、説明会にてご質問ください。

2026年1月期ADPISA-Zオンライン説明会

<https://forms.gle/6nf7qU3TxyW6YkVXA>

メールでもお問い合わせいただけますので、ご遠慮なくお送りください。

adpisa-desk@si.aoyama.ac.jp

情報システム入門

授業の概要	本科目は、組織や社会における「情報システム」を単なる技術装置ではなく、人・情報・判断・価値が相互に関係しながら機能する“構造”として捉えるための導入科目です。DXが進む現代において、真に価値を生み出す情報システムとは何かを理解し、業務や組織の仕組みを「構造的に見直す」視点を身につけます。受講者は、目的・構成・情報・判断・価値の5つの観点から自らの業務や組織を分析し、「構造を描く力」を習得します。
特色とメリット	・ 技術知識に依存せず、「構造で考える」基礎思考を身につける。 ・ DXを「仕組みの再設計」として理解し、業務改革や組織改善につなげる。 ・ 次科目「情報×経営による価値創造デザイン」への橋渡しとなる“構造思考の入口”を提供する。
学習目標	・ DXを「人と仕組みの再設計」として説明できる。 ・ 業務や組織の仕組みを5観点(目的・構成・情報・判断・価値)で整理できる。 ・ 自職場における「構造のズレ」を発見・可視化できる。 ・ 構造思考を活用して、業務や組織改善の方向性を示せる。

チェンジを推進するビジネスアナリシス

授業の概要	ビジネスアナリシスは「ビジネスアナリシスは専門職であり，企業のチェンジに関わる。ニーズをはっきりさせ，ステークホルダに価値をもたらすソリューションを推奨する。」とIIBA®は定義している。ビジネス環境の変化，テクノロジーの進歩により，ビジネスや仕事のやり方を「チェンジ」する必要がある。企業がチェンジできるようにするために必要なタスクがビジネスアナリシス体系 (BABOK®)としてまとめられている。ビジネスアナリシスの考え方や実践スキルを身に付けることにより，企業のチェンジをスムーズに行える専門人材が育成される。
特色とメリット	DXの基本知識であるビジネスアナリシスの集大成であるBABOKの最新版を体系的に学習できる。
学習目標	ビジネスアナリシスの目的，知識エリア，タスクを理解し，それらを企業の現場で実践できるようになる。

価値を実現するためのプロジェクトマネジメント

授業の概要	企業のDX(のうち特にトランスフォーメーション部分)を実行するためのプロジェクト(またはプログラム)は、従来のIT系のプロジェクトよりも非定型的でマネジメントが難しい。さらに、与えられたミッションをベースに与えられた期間やコストで価値を最大限にするようなマネジメントが求められる。これまでのマネジメント方法との違いや、適応的なプロジェクトマネジメント方法を学ぶ。
特色とメリット	従来型のプロジェクトマネジメントの基本だけでなく、PMBOK V7や、BABOK Agile Extensionに対応したプロジェクトマネジメント方法を学ぶことができる。
学習目標	本講義を通して受講者に以下のような知識・能力がつくことを目標とする。 ・プロジェクトの定義を説明することができる ・プロジェクトマネジメントの知識体系を理解する ・企業のDX(のうち特にトランスフォーメーション部分)のプロジェクトマネジメントの特徴とマネジメント方法を理解する

情報 × 経営による価値創造デザイン

授業の概要	本科目では、経営や組織における価値創造を「情報構造の再設計」として捉え、経営課題を多様な視点から構造的に分析・再構成する方法を学びます。経営の現場で生じる曖昧で複雑な問題状況に対して、「意義を描き、構造を設計する」力を養成します。経営戦略やDX推進を担う社会人が、情報・人・組織を統合的にデザインできることを目指します。
特色とメリット	・ 経営を“構造”として再定義し、価値創造の仕組みを設計する力を養う。 ・ 問題の解決ではなく「問題の定義」から出発する実践的アプローチを体得する。 ・ 多様な利害関係者の視点を統合する「対話的デザイン力」を学ぶ。
学習目標	・ 経営課題を構造的に分析し、価値の再構成を提案できる。 ・ 問題状況を可視化し、多様な立場から見方を整理できる。 ・ 理想的な活動構造(Root Definition)を作成し、再設計の方向性を言語化できる。 ・ 構造思考を応用して経営変革をデザインする発想を養う。

生成AIで変わる情報システム

授業の概要	2022年に登場したChatGPTにより、人工知能の可能性が大きく広がり、ユーザーとの対話を通じて様々な質問に答えたり、創造的な文章を生成する能力を示した。また、社会の多岐にわたる分野での応用が進み、テクノロジーと人間の関係が新たな段階に入っている。本科目では、生成系AIの中身についての解説とともに、生成系AIが広義の情報システムに対してどのようなインパクトを持つのかを、各分野の専門家により解説する。
特色とメリット	本科目は、ChatGPTをはじめとする生成系AIの仕組みと進化を理解し、それが情報システムや社会に与える影響を多角的に考察する社会人向け講座である。情報、経済、経営、認知科学などの視点から専門家が解説を行い、AIの本質を理解するとともに、実務への応用や戦略的な活用方法を探ることができる。生成AIの実践的な活用法を学ぶことで、業務の効率化だけでなく、新たな価値創出につなげる視点を身につけられるのが大きなメリットである。
学習目標	・生成系AIの歴史や仕掛けについて最低限の知識を持つ ・情報、経済、経営、認知科学といった様々な分野における広義の情報システムに対して、生成系AIがどのようなインパクトを与える可能性があるのかを知る

情報システムアーキテクト実践研究

授業の概要	本科目では、青山・情報システムアーキテクト育成プログラムの各科目での学習を総括する活動として、実践研究を行う。受講者がADPISAで学んだことを、自分の業務や組織に適用することを最終目標に、広義の情報システムに関連する活動の企画および一部試行し、その成果をADPISAの最終日に各受講者が発表する。
特色とメリット	ADPISA-Zでは、知識・技術と実践をつなげることに特に重点を置いている。この科目では、学んだ知識や技術を現実の人間活動に適用することを通して、実践における気づきを得ることを特色としている。
学習目標	・これまでのプログラムで学習した知識について、業務遂行可能なコンピテンシーへ深めること ・実践研究を通して、今後現場での実践で進化していく「情報システムアーキテクト」の基礎を完成させること

- 座学はなく、実地演習で試行結果を最終日に発表
 - 他の科目で修得したことを使って、肉付けする
 - この内容でADPISA-Zの修了を判定する

